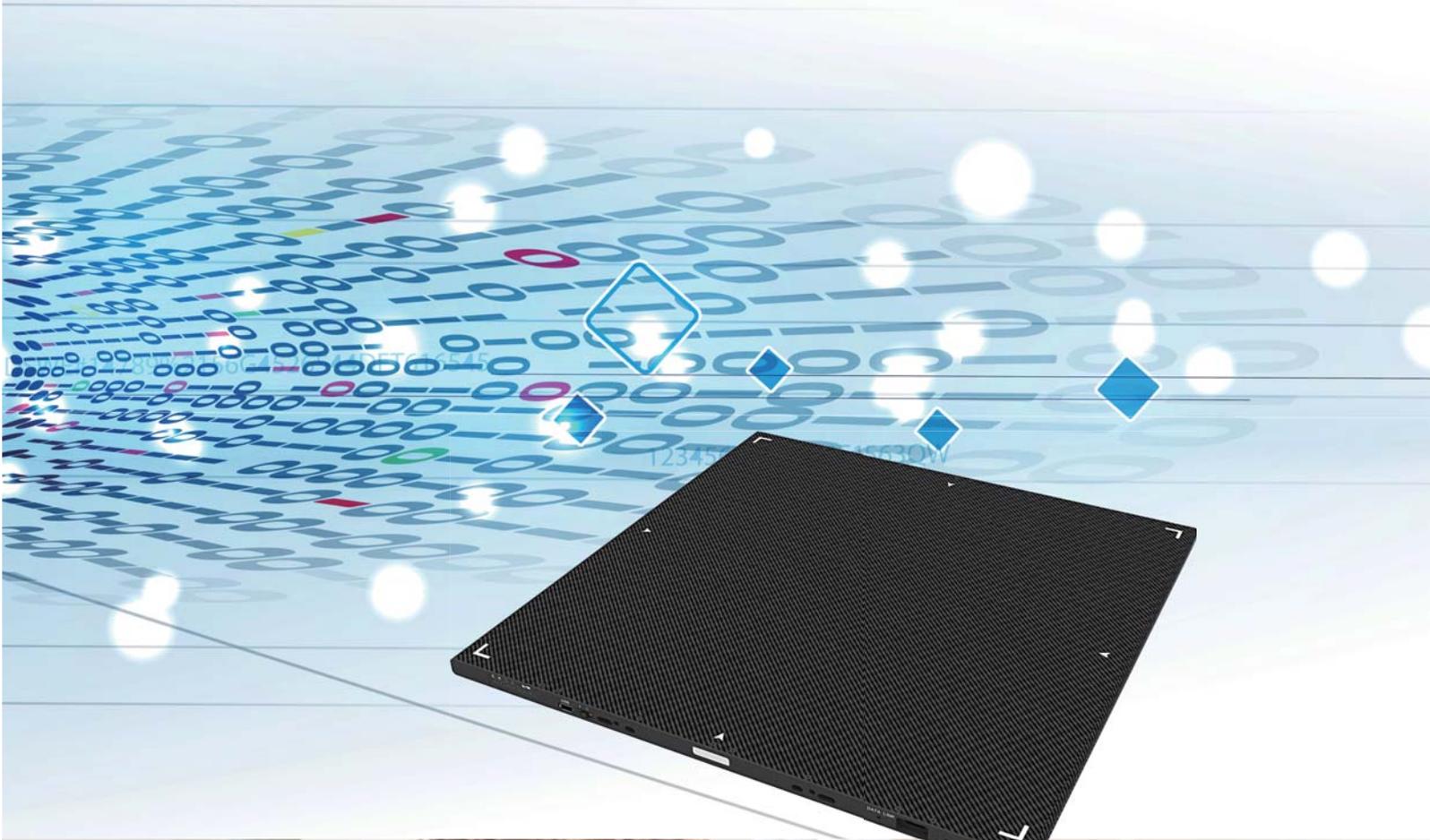




# Matrixia

デジタルラジオグラフィ

マトリクシア シリーズ



# ルーチンワークに差を付ける 次世代型フラットパネルで フィルムと決別を

17" x 17" カセットサイズ

## 用途に適した重さと耐久性



集積回路からカーボンハウジングまで徹底した軽量化に配慮して設計されています。最軽量モデルのパネルはわずか 2Kg に満たない重さと、わずか 15mm の厚さで、各社の広範な撮影台にそのまま組込可能です。200kg 耐荷重（面）のポータブルモデルでさえ、握りハンドルを取り付けた状態で 3.6Kg（CSi モデルは 3.8Kg）の重さしかありません。



## X 線曝射を自動検出



X 線曝射を自動検知する専用回路 AED<sup>\*1</sup> が組み込まれています。X 線曝射スイッチや高電圧発生装置から曝射トリガーを受けずに撮影動作を行うことが可能です。装置メーカーに接続を依頼する必要がなく、接続費用が発生しません。

## 自動化されたキャリブレーション<sup>\*2</sup>



75kVp 一か所の撮影とダーク画像取得のみでキャリブレーションが実行できるように ACC<sup>\*2</sup> が組み込まれています。さらに、キャリブレーションデータはフラットパネル本体に保存できます。従って、X 線装置が変更されてもキャリブレーションを再実施する必要がありません。

## 高速ハイブリッド LAN 構成



フラットパネルと撮影コンソール間のデータ転送にイーサネットを採用しています。有線 LAN 接続モード、Wi-Fi 子機モード、親機モードと 3 種類の接続方式から運用に合わせて使い分けができます。Wi-Fi 親機（ルータ）はパネル本体に内蔵されているため、院内の移動撮影、院外の出張撮影でも Wi-Fi 機器設置の手間無く利用可能です。

## バックアップ保存



フラットパネルに USB3.0 ポートを備えています。ポートに USB メモリを接続すれば、撮影 RAW 画像をバックアップ保存できます。保存画像は正規化処理、ピクセル補正済みの結果を出力できます。

## ご希望の PC をコンソール端末に



DR コンソールはソフトウェアで認証を取得しているため、タブレットからワークステーションタイプまでお客様の業務シーンに合わせたコンピュータで運用することが可能です。（組合せ可能な PC 仕様は仕様書または添付文書をご確認ください。）

\*1：AED は Automatic Exposure Detection の略称です。

\*2：自動化されたキャリブレーションとは ACC: Automatic Calibration Control のことを意味します。

# 業務スタイルに合わせた システム構成が可能

一般撮影が可能な  
X線撮影装置  
(アナログ及びデジタル)



## オールインワン PACS Wink x64 STD

Wink x64 STD は、ネットワーク、保存管理、画像並びに文書の取込変換、読影機能、印刷機能、媒体保存（バックアップや配布）、タグ編集機能と PACS に必要な機能をすべて網羅しています。データベースは標準で 1TB、オプションで 2TB に対応します。64 ビット OS 対応でレビューワークも高速かつ快適にご利用可能です。



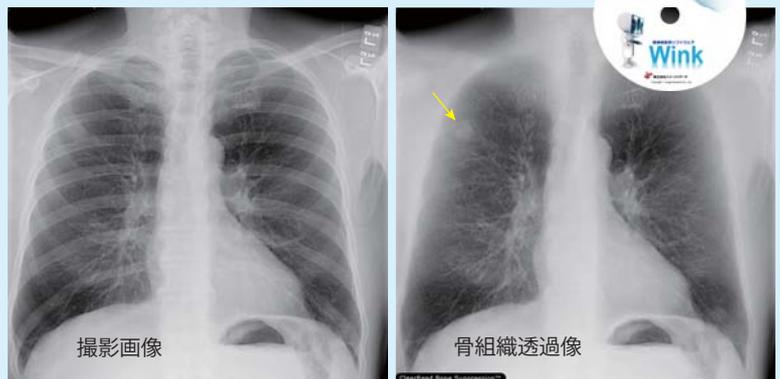
## 小規模サーバ&クライアント PACS Wink x64 SE

Wink x64 SE は標準ライセンス (Wink x64 STD) に加えて DICOM 並びにオンデマンドのサーバ機能を装備しており、5 台の院内端末 (Windows) 上でも画像表示ができます。さらに大きなサーバが必要な場合や、iPhone、アンドロイドタブレット等も参照可能にしたい場合はサーバ製品 RapidServ シリーズをラインナップしています。



## 胸部画像処理パッケージ Wink ClearRead Pkg.

Matrixia 専用に胸部画像処理パッケージをラインアップしています (胸部撮影に利用するパネル 1 枚に対してライセンスされます)。このオプションは、胸部の骨組織透過像 (通常胸部画像 1 回撮影のみで処理)、経時差分処理 (現在、過去の 2 回の撮影から処理) の 2 つの機能をパッケージしています。過去画像はどのメーカーの CR、DR でも、経時差分処理に使用することが可能です。



# デジタルラジオグラフィー Matrixia の主な仕様

型式	4343-GT	4343-GT2	4343-GW	4343-GP	4343-CT	4343-CT2	4343-CW	4343-CP	
用途	一般X線撮影 (デジタル撮影加算適用)								
センサー	a-Si TFTアレイフラットパネルディテクタ (間接変換方式)								
シンチレータ	GoS				CsI				
構成	ディテクタ本体	●	●	●	●	●	●	●	
	電源・制御ユニット	●	●	●	●	●	●	●	
	バッテリーパック	-	-	●	●	-	-	●	
	付属品	●	●	●	●	●	●	●	
パネル寸法 (mm)	460(H) x 461(W) x 15 (D)								
着脱ハンドグリップ +60mm (W)	-	-	-	付属	-	-	-	付属	
パネル重量 (kg)	パネル本体	1.95	2.65	2.65	3.2	2.15	2.85	2.85	3.4
	バッテリー込	-	-	3.05	3.6	-	-	3.25	3.8
画像化領域	17" x 17" (430mm x 430mm)								
ピクセル数	3,072 x 3,072 (9.4メガピクセル)								
画素サイズ (ピッチ)	約139μm								
A/D変換	16 bit								
鮮鋭度 MTF(1) <sup>*4</sup>	0.63 以上				0.72 以上				
ノイズ DQE(1) <sup>*4</sup>	33 %以上				46 %以上				
アーチファクト	診断に影響するムラがないこと								
推奨グリッド (別売)	推奨: 85本/cm (ブッキー組込用グリッドは40本/cm以上)								
耐荷重 (kg)	面荷重 (有効域全面)	組込用	50	200	組込用	50	200		
	点荷重 (Φ4cm)	組込用	20	90	組込用	20	90		
X線トリガー	AED (X線曝射を自動的に検出) X線撮影装置との結線は不要。(曝射トリガーの結線はオプション対応)								
キャリブレーション	ACC (自動化されたキャリブレーション機能により75kVp一点曝射計測で完了) フラットパネル本体に製造完了検査時のキャリブレーションデータを保存して出荷。								
インターナルメモリ	内蔵2GBメモリ装備。								
USB 3.0 ポート	フラットパネル本体にFAT32初期化済みUSBメモリ挿入してローデータのバックアップ保存可能。(ユーザー向け救出アプリケーション開発中)								
撮影サイクルタイム	8秒~								
通信	有線LAN	●	●	●	●	●	●	●	
	Wi-Fi子機・親機	-	-	● (内蔵)	● (内蔵)	-	-	● (内蔵)	● (内蔵)
バッテリーパック <sup>*5</sup>	リチウムイオン	-	-	● (約6時間)	● (約6時間)	-	-	● (約6時間)	● (約6時間)
電源	ディテクタ本体	電源電圧: DC18V (内部電源駆動時: DC14.8V)、バッテリーチャージャーは電源・制御ユニットに内蔵							
	付属アダプタ	単層交流100~240V 50/60Hz							
動作環境	気温: 10 ~ 35℃ 湿度: 20 ~ 75% RH (結露がないこと) 気圧: 70~106kPa								
保存環境	気温: -10 ~ 60℃ 湿度: 10 ~ 90%RH (結露がないこと) 気圧: 70~106kPa								
XGate	キャリブレーション	サービスツールとして専用のアプリケーションを付属。							
	パネルの制御機能	Matrixiaパネル制御専用アプリケーションを付属 (17" x 17", 12" x 12" 各サイズの撮影制御が対象)。							
	ローデータ補正機能	正規化、パッドピクセル補正、14/16ビット圧縮補正等							
	プロトコル編集機能	パネル指定、撮影部位、反転設定、画像処理条件、プリセット裁断サイズ指定等							
	患者情報設定	マニュアル設定、モダリティワークリスト読込、オプションとしてバーコード読取 (事前打ち合わせ必要)。患者情報修正機能。							
	画像処理機能	マルチ周波数処理、グリッドアーチファクト除去、アンシャープマスク、メディアフィルタ、裁断、マスク、フルエロライゼーション、デジタルマーカー等							
	レビュー	表示フォーマット変更、レベル・幅調整、拡大・縮小、回転・反転、距離・角度計測等							
その他	印刷、転送、媒体保存 (簡易ビューアー付属)								
保守	年間保守契約	遠隔操作によるリモートメンテナンス、現地への出張を伴うオンサイト保守、部品保障等。詳細は営業窓口までご相談ください。							

\*1: 固定利用とは、パネル本体を立位撮影台や平面撮影台に固定的にセットして利用することを想定したモデルであることを意味します。固定利用モデルの場合、有線 LAN (ワイヤードモード) のみをサポートしており、有線 LAN で画像出力等の通信を実施します。

\*2: ハイブリッドとは、有線 LAN と無線 LAN (Wi-Fi) の両方をデータ通信のために使用できるモデルであることを意味します。有線・無線の切替はパネルの電源 ON/OFF で行います。

\*3: ポータブルとは、パネルの持ち運びを前提にしたハウジング強化モデルであることを意味します。ポータブルもハイブリッドモデルの一種です。

\*4: 試験方法は IEC62220-1 に準拠し、測定条件は RQA5. 0.74mR, 1.0 cycle/mm。

\*5: バッテリーパックは自由に追加購入できます。

製品の仕様は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承をお願いします。  
ご購入に際しては添付文書をお読みください。

一般的名称: X線平面検出器読取式デジタルラジオグラフィ  
管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器  
認証番号: 228AGBZX00048000

お問い合わせ

 **イメージリサーチ**

☎ 048-658-3980 (本社)、092-408-1000 (九州支店)  
URL <http://www.image-research.co.jp/>

 **東陽テクニカ**

☎ 03-3245-1351 (メディカルシステム営業部)  
URL <http://www.toyo.co.jp/medical>